

おわりに

(司会：平田容) 最後に、本日、所用で本デ活協議会・発足会に参加することができなかった防災科学技術研究所理事長の林春男より、皆さまに向けたビデオメッセージがあります。どうぞスクリーンをご覧ください。

(林) 本日は首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会の発足会ならびに記念シンポジウムにご出席いただき、誠にありがとうございます。防災科学技術研究所理事長の林と申します。今日の会議に参加する予定でしたが、急きょフィリピンに出張を命じられ、参加することができなくなりましたので、ビデオを通して皆さんにご挨拶させていただくことにしました。

これまでの準備の過程で、いろいろな業種・業態の企業の皆さんに関心を持っていただき、たくさんの方々にご参加いただけることを大変うれしく思っています。今日お集まりいただいた企業の皆さんは、企業の社会的責任について自覚され、これまでも積極的に CSR のいろいろな活動をされてきた優良企業だろうと推測しております。

このデータ利活用協議会は、それをさらに一歩進めて、みんなで CSV (共通の価値) を作り、それぞれの企業が本来業務をどのような状況でも確実に遂行することで、社会に対して企業が果たすべき責務を果たしていくことを目指す活動体だと理解しています。首都圏は、今後 20~30 年の間に極めて高い確率で直下地震が起こるリスクを抱えています。その中で、今日お集まりの個々の企業の皆さんがそれぞれ本来やるべきことを果たしていただくことは、首都圏に来るべくして来る地震災害を最小限にとどめ、速やかな復旧・復興を実現する上で不可欠なものだと考えています。

それを実現する方法としては、それぞれの企業がお持ちの情報のうち、他と共有してもいいと思われるものを互いに共有し合い、情報基盤をより強固なものにして、そこに独自の情報を重ねて、より効率的で効果的な意思決定につなげていただくことが最上だと思っています。この会を防災科研としても最大限応援していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(司会：平田容) ありがとうございました。以上をもちまして、首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会発足会・記念シンポジウムを終了します。

なお、事務局の不手際で資料に一部不足がありましたので、ご希望の方は受付に名刺をお渡しいただければ、あらためて送付させていただきます。この後、13 階の「ラウンジ日比谷」にて 17 時半から意見交換会を開催します。この意見交換会は

事前申込をされた方が対象です。本日も登壇いただいた方々、協議会関係者は会場に移っていただきますようお願いします。

それでは、これで閉会させていただきます。ありがとうございました。